

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 あっぷる（放課後等デイサービス事業）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月18日		～ 令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 16名（きょうだい家庭含む）
○従業者評価実施期間	令和6年12月18日		～ 令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な体験の機会がある	・勉強や課題だけでなく、季節ごとのイベントや、調理実習、園外活動、植物栽培、祭り等の行事を通して、子どもが当たり前のように経験できる機会を積極的に提供している。	・行事が行われた後には必ず利用者目線、職員目線での振り返りを行い、次回の行事に活かす。
2	・幅広い年代層の子ども達が利用しており、子ども達がお互いに助け合える関係性を構築できる ・高学年の利用者が、低学年の利用者のフォローができています	・利用者の特性に合わせて職員が仲介に入り、アドバイスをしている。 ・利用者の良い行動をしっかり褒めて、自己肯定感の向上に努めている。	・特性に応じたグループ分けをすることで、利用者のコミュニケーションスキルの向上を目指す。
3	・自立に向けた取り組みを行っている	・課題を豊富に用意し、個々の状態を見極めながら能力に応じた課題を提供している。 ・あえて同じことを繰り返し行うこともあり、見通しをもって活動することで、安心や自信に繋がるようにしている。	・職員間でより積極的に意見交換をしたり、研修に参加して職員のスキルアップを図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・実際に取り組んでいることが保護者に伝わっていないことがある。	・発信する方法や機会が定まっていない。	・年度初めに会を開いて周知する。または利用時等に個別に周知する。 ・活動場面の見学を提案する。
2			
3			